

# 呉市議会

## 誠志会だより

<No.6>

### 発行

誠志会

呉市中央4丁目1番6号  
TEL:0823-25-3264

### 発行責任者

森本 茂樹 土井 正純  
中田 光政 小田 晃士朗  
福永 高美 岡崎源太郎



### ごあいさつ

市民の皆様、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。  
誠志会は皆様の代弁者として、市民一人ひとりが幸せで快適な生活が送れるよう頑張っております。そこで、私たちの活動をお伝えるため「誠志会だより No.6」を発行し、我々誠志会の議会での発言を中心に、活動報告ならびに会派の方針についてお知らせいたします。

さて、昨年11月に新原市長が誕生し、選挙戦で提唱した呉復活新計画「くれワンダーランド構想」がスタートしました。

私たちは、先の新庁舎建設に全員反対の立場で、議論してきましたように、二元代表制である地方自治体の一翼を担う議会での論戦は、「市民第一」が必然であると考えています。

誠志会は、これからも是々非々の議論をモットーに、呉市の発展を目指し、福祉の向上そして教育の充実に力を入れて活動してまいります。

今後とも、御意見、御要望を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。  
誠志会一同

### 活動報告

#### 呉駅周辺の再整備を推進

「くれワンダーランド構想」を推進する。構想の具現化に向けて、新年度早々の検討委員会設置が決まり、その委員会に、呉駅周辺整備を目的とする分科会を設置するための予算300万円が計上された。

#### 小中学校へのエアコンの早期整備

平成29年度から中学校にエアコンを整備することが決まったが、平成29年3月議会の質疑では、当年度夏季のエアコン使用は無理であるとの答弁があった。誠志会は、できるだけ早く子供たちがエアコンを使用できるよう、早急な整備を提言した。結果として、7月下旬から4校、9月1日から8校でエアコンの使用が開始された。また、平成30年度には全小学校へエアコンが整備される。

#### 小中学校の洋式トイレ化の推進

平成29年度にトイレ洋式化の予算として400万円を計上し、小中学校11校に簡易の洋式トイレを35基設置した。また、実態調査の結果、市内小中学校の洋式率は30.2%であった。今後は洋式率の目標を50%から60%に引き上げるとの答弁があり、誠志会としては設置計画を策定するよう提言した。

#### 新しい時代に対応できる教育の推進

次期学習指導要領で情報活用能力の育成が明記されていることを踏まえ、平成30年度から中学校4校、平成31年度から小学校3校にタブレット端末を導入する。なお、平成30年度予算では437万円が計上された。

#### 夢あるスポーツ振興策の推進

平成27年12月議会の代表質問で「スポーツによる、まちのにぎわいづくり」と題し、三原市の例を用いて広島東洋カープ2軍戦の開催を提案し、平成29年4月16日に実現した。当日は、日曜日の昼間ということ、それも快晴だったこともあり、多くの親子連れでにぎわった。また、東京オリンピックに向けて、メキシコバレーボールチームが呉で事前キャンプをすることが決定した。

#### 安芸灘大橋の早期無料化に向けて

「半額から無料化へ」を合言葉に、平成29年3月議会において、合併時に積み立てた40億円の地域振興基金を無料化の原資として活用するよう提案した。その後、平成29年11月に就任した新原市長の公約である「安芸灘大橋無料化」に議会全体が賛同し、今後は、県そして国と調整しながら無料化の実現を目指す。

### 活動方針

人口減少に歯止めをかけるまちづくりの推進

そごう跡地を含めた呉駅周辺再開発の推進

時代にあった教育環境の推進

「スポーツ大国・呉」の復活を目指す

安芸灘大橋の早期無料化を目指す

議員定数の削減 < 32名 → 28名 >

### 皆様のご意見 お待ちしております。

誠志会は常に市民サイドに立ち、市民生活の向上を目指し、皆様方の代弁者として活動して参ります。  
どんなことでも御相談ください。

TEL 25-3264 FAX 25-3650  
(呉市議会事務局内)

E-mail:kureseishikai@gmail.com

## 平成30年 3月議会 予算総体質問から



森本茂樹議員

### 国土強靱化地域計画について

**森本議員** 東日本大震災、笹子トンネルの天上崩落事故等での大規模災害、公共施設の老朽化対策について国土強靱化地域計画を策定することになっている。呉市の、橋梁とトンネル総数及び、点検結果は。

**土木部長** 橋梁は990橋、トンネルは14ヶ所の内、早期対策が必要な橋梁は、153橋、トンネル2箇所、早期に対策を必要とする施設が多く、維持管理費が増大してまいります。

**森本議員** 次に市営住宅の現状と対策について。  
**都市部長** 市営住宅数は3,571戸あり、築35年を経過した住宅は2,328戸で管理戸数の2/3を占めており、1,087戸は募集停止としております。今後民間空き家の利活用も考えてまいります。

**森本議員** 上下水道の老朽化は。  
**上下水道局長** 管路の総延長は1,420kmで耐用年数超過(40年)管路は280kmあり、PFI、PPP方式の普及を着実に推進するなど、民間資本を有効に活用してまいります。

**森本議員** 社会資本の維持管理は国ではなく、当該自治体が担うことになっている。今後民間の資本をいかに積極的に活用するか、費用の削減を図るのか、又、不要な資産の売却、貸付け等による税外収入の安定的な確保に取組む必要がある。効果的な財政健全化を目指さなければならぬということをお願いいたします。

### グリーンピアせとうち 今後について

**森本議員** 昨年9月1日から新たに「観光休暇村サービス」を指定管理者としてホテル事業

を再開しました。順調なすべりだしてであると聞き及んでいるが運営状況は。

**産業部長** 約3ヶ月の休園により団体客、修学旅行の予約解消など影響はあったものの毎月の宿泊者、日帰り客数は、当初の事業計画に沿った状況と伺っております。宿泊者へのアンケート結果では、部屋の清掃状況や食事について、9割以上の方から良いと評価を得ていると報告を受けております。

**森本議員** 休暇村サービスとの指定管理契約は1年間である。本年9月以降の管理運営方法は。  
**産業部長** 利用者や地域経済等への影響を考慮して検討を進めており、定まり次第議会へ報告いたします。

**森本議員** 私の意見として「休暇村サービス」がノウハウを活かし営業努力を重ねており、引き続き指定管理者とするのが最善の策ではないかと思う。しかしながら開園から32年が経過しておりいろいろな設備が老朽化しており、1年ごとの契約が最悪と思われる。湯崎知事は海を活用した瀬戸内海構想をもっておられます。この100万坪の広大な土地を活用した、大型リゾート計画も想定されます。又、国への施設誘致など将来展望が可能な土地であり、切り売りすることなく色々な夢を描き、活用していたくよう強く要望してまいります。



グリーンピアせとうち

【他の質問事項】  
一、呉市まちびとこと創生総合戦略について  
一、立地適正化計画について

## 平成30年 3月議会 予算特別委員会から



土井正純議員

### 来年10回を迎える「とびしま マラソン」について

**土井議員** 平成29年度は1,200万円であった補助金を1,050万円に減額した理由は。

**文化スポーツ部副部長** 運営費は900万円が変わりはないが、平成29年度は公認取得費として250万円を計上していた。平成30年度は第10回記念大会として100万円、ゲストランナー招致のために、来年度も50万円を計上した。

**土井議員** 今年で9回目を迎えた「とびしまマラソン」だが、参加者の感想は。

**副部長** 都市型のマラソンとは違い、「景色がすばらしく、再度訪れたい」、「会場内のコースやおもてなしが良かった」との高評価がある一方で、「上り坂が多く、海風も強いので記録が出なかった」という感想もあり、タフなコースという印象があるようだ。

**土井議員** 地元への感想は。

**副部長** 「会場内の出店や路地売りの物品も完売し、にぎわいがある」と好評の声がある一方、「交通規制が長くて家から出られない」という声や、ボランティアからは「当日の手伝いは、年を取っているのせいで」といような高齢化が進む地区ならではの意見もあった。

**土井議員** 大会による経済効果も大きいと考えるが、どのような状況か。

**副部長** 大会前日の市内ホテルは全て満室で、キャンセル待ちの状況となっております。

当日も多くの宿泊があった。

また、安芸灘大橋については、通行量の多い日曜日約5,000台が通行しているが、大会当日は約7,500台が通行し、1年間での通行量は一番多い。

加えて、会場となっている県民の浜の売店では、毎年お土産物が完売している。

**土井議員** スタッフには大変ご苦労をかけていると思うが、現状は。

**副部長** 地元自治会、消防団、体育指導員そして陸上競技協会など、約450人のボランティアと約300人の市職員で大会を運営しているが、拘束時間も長く、寒い中で協力いただいております。

**土井議員** 昨年、公認コースの申請をしたが、小さなカブが多く、アップダウンが大きいなどの理由で認定されなかったと聞いたが、今後の課題は。

**副部長** 交通規制については、これまでも代替交通としてフェリーを運航したり、広報活動などによって周知してきました。

しかし、屋外イベントのため自然に影響されやすく、選手は気温が高ければ脱水症、低ければ低体温症のおそれがある。タフなコース設定の為、ランナーの健康面については、医療スタッフ等で万全の体制であるが、全てに対応できるものではなく、大きな課題である。

**土井議員** 来年、10回目の記念大会に向けての意気込みは。

**副部長** 記念大会として成功するよう、医療関係、警察、地元などと、これまでの検証を行いながら、各関係者のご意見、ご要望を踏まえ、地元として選手に喜ばれる大会を目指します。



フルマラソンのスタートを待つ選手たち

## 平成30年 3月議会 予算特別委員会から



中田光政議員

### 投資的経費について

**中田議員** 公共施設の投資的経費について平成30年〜平成34年で119億円〜63億円の減少となり、今後、呉市の投資的経費は削減していくと、予算概要に示されています。公共投資は、民間企業の投資意欲の向上、若者の就業機会の増加、ひいては市全体の税収増となり、呉市全体の活性化にも繋がります。

新たな投資を行うに当たり、もつと投資的経費が必要なのはと考えますが、公共施設整備・教育施設整備・インフラ整備についてそれぞれの方向性を聞かせてください。

#### 公共施設整備は

**企画部** 概算事業費が明らかでないものや、正式に決まっていない事業などについては、その方針が決まった段階で財政見直しに反映することとしております。従いまして、現時点では、例えば呉駅周辺の総合開発や青山クラブ、あるいは来年度から適地選定に着手する新産業団地造成に関する整備など投資的経費には計上していません。今後、財政見直しを再考するためには、検討委員会での専門家の意見を参考にします。そしてニーズ調査、費用対効果の検討を慎重に行ううえで、将来の呉市発展のために必要な事業、重点的に注力すべき事業につ

いては、しっかりと実施してまいります。

#### 教育施設整備は

**教育委員会** 今後の教育環境の整備には、耐震改築・学校施設及び小学校給食室の老朽化対策があります。学校施設235棟の内201棟が20年を超えているなど対策が急務であります。これらの事業には、多大な経費が見込まれますので、すべてを一度に着手することはとても困難です。財政状況などを勘案し、どこからやるか、いつやるか、どこまでやるかを見極めることが重要と考えております。

#### インフラ整備は

**土木部** 呉市は、戦災復興によって多くの道路や橋梁が整備されているため、他都市よりも早く老朽化が進んでいます。また、新たに道路や橋梁を作ることにより、管理する施設が増えていることや、景気の回復により、補修のための人件費や資材費も上昇していますので、それらの補修にかける予算は、今後増やしていく必要があると考えています。

このため、より一層危機感を持って道路等を補修するための、主要な財源をもつ国や県と情報交換を密に行いながら、積極的に要望を行っていきま



再開発が持たれる呉駅前

## 平成30年 3月議会 予算特別委員会から



小田晃士朗議員

### 2020東京オリンピック事前キャンプ呉実行委員会について

**小田議員** 2,240万円を実行委員会へ負担しているが、事業内容を伺う。

**スポーツ振興課** メキシコバレーボールチームの合宿受入が柱で、男子が6月、女子が9月に予定されている。加えて合宿期間中には通常練習や県内実業団チームとの練習試合を広く市民に公開し、トップレベルの試合観戦機会を設けたり、オリンピックによるバレーボールを行っていている児童・生徒・学生への技術指導を予定している。また、日本文化や呉の歴史を体験・学んでもらうための筆づくり体験、茶道体験、酒蔵見学及び選手の学校訪問による交流も計画している。

**小田議員** この事業を行うに国・県のサポートはあるのか。

**スポーツ振興課** 県から400万円の補助があり、実行委員会の全体事業費は約2,640万円である。

また、呉市の負担金2,240万円に対しては、次年度以降、その二分の一が特別交付税措置される予定である。

**小田議員** 日本の国内でどのくらいの自治体が事前合宿誘致に取り組んでいるのか。

**スポーツ振興課** 全国1,788の都道府県、市町村のうち平成30年1月末で288の自治体が単独若しくは共同で、83か国を対象に誘致に取り組んでいる。

**小田議員** 貴重な体験でもあり、費用対効果があると考えます。多くの市民を巻き込んで有意義な事業になることを期待する。

### 防災行政無線について

**小田議員** 屋外スピーカーの増設工事はいつまでするのか。

**危機管理課** 屋外スピーカーの増設工事は、国の緊急防災・減災事業債を活用しており、この事業債は、充当率100%、地方交付税入率が70%と非常に有利な起債となっております。この事業債は平成32年度まで活用できるため、当面はこの財源を活用して、聞こえにくい地区の解消に向けた増設工事を進めていく。

**小田議員** 財源がなくなる平成33年度以降はどうするのか。

**危機管理課** 可能な財源の中で聞こえにくい地区の解消に取り組む必要があると考えている。しかし、近年は気密性の高い建物やビルの影響による難聴や音の共鳴などで屋外スピーカーだけでは対応が難しい状況も見られている。今後も多様な情報伝達の方法についても調査研究を進める必要がある。

**小田議員** 今後どのような防災情報の伝達方法が考えられるのか。

**危機管理課** 現在、屋外スピーカーの外にも、防災情報メールや緊急速報メール、市のホームページ、フェイスブック、NHKテレビのデータ放送などで防災情報を確認できるが、今後は新たな戸別受信機や防災ラジオ、防災アプリなどの活用も考えられる。



防災無線(屋外スピーカー)

平成30年  
**3月議会**  
予算特別委員会から



福永高美議員

## 中央公園のトイレリノベーション

**福永議員** 中央公園のトイレ改修工事4、100万円というのはどういう内容か。

**土木維持課長** トイレ改修工事の内容につきましては、バリアフリーに対応するため、小便器に手すりを設けるとか、また多目的トイレがついていない1ブロックにつきましては、新たに多目的トイレを設置するなど、主にバリアフリーの観点から整備するように行っております。

**福永議員** 多目的トイレは別にして、通常のトイレについてもやりかえて綺麗にするということですね。この場合、温水洗浄便座にするのか、普通の洋式トイレのままなのか。

**土木維持課長** 一般トイレにつきましては、温水洗浄便座はついておりません。

現在、改修工事が終わりました6ブロックのほうの一般トイレにつきましても、ついておりません。

**福永議員** この4、100万円、これだけのお金をかけて、改修するのはありがたいが、この先何年使うのか、それを考えると、先を見通した対応も必要だと考える。

## 学校の温水洗浄便座リノベーション

**福永議員** 今、呉市の小中学校で、温水洗浄便座を取り入れているところはあるのか。

か。又、広島県、全国単位での進捗状況はどうか。

**施設課長** 小学校4校、中学校6校が付けていると把握していますが、いずれも多目的トイレでの設置です。広島県の数も把握しておりません。全国についても温水洗浄便座については統計がとれていません。

**福永議員** 今ここにいる人たちの家庭のトイレも、ほとんどが温水洗浄便座を使っていると思う。道路のサービスイリアのトイレにも温水洗浄便座は付いている。時代の流れというものを考えたら、他の地域に先駆けて実施してもいいと思う。新しい東畑中学校の洋式トイレも温水洗浄便座ではないのか、その辺のところをお聞きしたい。

**教育部長** 学校トイレの洋式化につきましては、まず洋式化を図っていきたくて考えております。それから、多目的トイレにつきましては、今後順次建てることに整備していきたくて考えております。それから、特別支援学校などでどうしても必要ということであれば、これは考えていきたくて思っておりますけれども、計画的に進めてまいりたいと考えるものでございます。



こもれび広場のトイレ

平成29年  
**6月議会**  
一般質問から



岡崎源太郎議員

## クレアライン無料化の提案

**岡崎議員** クレアラインが無料になりますと、天応と焼山中心部は便利になります。無料化の見直しをお尋ねします。

**都市部参事** 独立行政法人日本高速道路とネクスコ西日本との協定により、その料金徴収期間は平成32年11月28日までで、期間の終了後、クレアラインは本来道路管理者である国土交通省に移管されます。管理形態等についての詳細は不明です。

## 新たなバイパスの提案

**岡崎議員** クレアラインが無料になりますと、県道66号線と幅が狭く離合が困難な滝見橋は渋滞が予想されるため、道路拡幅と滝見橋の改良が必要になります。早期の改良工事が必要と考えますが、市の考え方を伺います。

**都市部参事** 迂回路のない河川の工事であり、少なくとも3年の工事期間を要するなど、事業に対する地元の全面的なご理解が得られなければ、工事実施は困難な状況です。

**岡崎議員** 2mほど橋の幅が広がると問題は解決します。  
天応町上部入り口から西インター入り口まで新たなバイパスを提案します。

## 新たな住宅団地の提案

**岡崎議員** クレアラインが無料になりますと、県道66号線を上がりきった焼山運動公園、昭和高校、最終処分場周辺は広島市の中心部にも呉の中心部にもわずか15分で行ける一等地になります。ここは住宅団地として、大規模開発し、ベッドタウンとして呉市の人口減に歯止めをかけるべきですが、大規模開発する考えはありませんか。

**都市部長** クレアラインの無料化が実施されると、インターチェンジに接続する道路周辺においては住宅団地の需要が高まってくるものと思われまます。今後の民間開発動向を注視するとともに、民間開発に対し開発許可制度の適切かつ迅速な適用や民間投資の誘発に繋がる施策等について研究します。

